

♪コラム♪



私たちの楽団を紹介します。

アンサンブル シーガル横浜



当団は、楽器演奏を愛好するアマチュアの集まりとして1999年8月に「シニアアンサンブル横浜」として設立し、NPO法人全日本シニアアンサンブル連盟に加盟、現在では登録37団体中3番目の最古参となっております。

参加者が元々シニアであるため、あえてシニアと冠する必要があるのではないかと「シニア」を削り、横浜のシンボルであるカモメ（Seagull）を採用して、2010年2月に「アンサンブル シーガル横浜」と改名しました。

当団は、音楽を楽しむ、演奏技術の向上を目指すと共に、長寿社会を健康で且つ謙虚に、奉仕と感謝の心で活動することを目標として、弦楽器、管楽器、鍵盤楽器、打楽器など自由な編成の楽器アンサンブルとして当初14人で発足しました。現在の構成は、ヴァイオリン2、チェロ1、ピッコロ/フルート4、クラリネット4、アルトサックス4、トランペット2、トロンボーン2、ユーフォニアム1、テューバ1、エレキギター1、グロックenspiel1、キーボード/ピアノ2、ドラムス1と26名の大編成となっております。

昨年（2024年）11月24日（日）に第12回定期演奏会を開催しました。特にその年は当団の創立25周年を迎えるにあたり、団員一同張り切った練習に励んでまいりました。会場は3月末に落成したばかりの、まだ檜の香りが漂う真新しい横浜市港北区民文化センター「ミズキホール」です。松永恒文理理事長も遠方よりお祝に駆けつけて下さり、約350名ものお客様にもご来場いただき満員御礼の大盛況でした。



今回も、小さなお子様から、私たちと同世代の方々まで、親・子・孫の三代に渡って幅広く楽しんでいただけるようクラシックからポピュラー、アニメや映画音楽、童謡から民謡・歌謡曲・ジャズなど幅広いジャンルの演奏に精いっぱい挑戦しました。

ただ、ひとつ残念なことに楽団創立に尽力いただいた、テナーサクソフの林潤さんが、11月初めに定期演奏会を目前にして87歳で他界され、定期演奏会では楽器だけでの参加となってしまいました。亡くなる2日前までご一緒に練習に参加され演奏会を楽しみにされていたのに、急逝でした。

また、この「ひびきあい」の「音楽と私」に寄稿いただき、発行されるのを心待ちにされていたのが残念であります。

当団はシニア楽団特有の悩みである高齢化が進み、練習時に全員が揃うのが難しくなっています。ですが、これからも健康第一で長寿社会を好きな音楽を通して生きいきと元気に活動が続けたいと思います。

アンサンブル シーガル横浜 佐藤章一

